



秋田ファンを増やしたい

[秋田市観光クチコミ大使]

損害保険ジャパン日本興亜(株) 北東京支店長 上野 彰 紀 氏

昨年12月に秋田県の皆様のご協力を得て、当社本社ビル社員食堂で「地方創生マルシェ秋田県」が開催されました。日替わりメニューとして初日は桃豚ロースかつ、2日目は比内地鶏の絶品親子丼、3日目はハタハタのフライが出ました。売れ残りを少し心配したのですが、全くの杞憂で全メニューが早々に完売。また同時開催された秋田県産品の展示即売会では、日本酒はすぐに売り切れ、その他の品物にも列ができて完売しました。私はバター餅を何とか確保し、職場の皆に食べてもらいましたが、「おいしい、はじめての食感」と大好評でした。私からすればさもありなんという反応でしたが、秋田県産品の力に思わずニンマリしておりました。

大阪出身の私が縁もゆかりもない秋田に、平成23年11月から3年5ヶ月の間、単身赴任でお世話になりました。食べ物は何でもおいしく、日本酒は色々な種類があり、どれも絶品。温泉は素晴らしく、祭りは盛況。釣り、山菜穫り、栗拾い等々、自然相手のレジャーは親切に案内してくれる人がいてくれて、その気になれば何でもできる。夜の川反は情緒があって飽きが来ない。心豊かに暮らせる資源がたくさんあって、とても住みやすく、皆に紹介したくなる街だと思いました。これまで岡山、別府、大阪、山形、札幌、秋田と転勤でお世話になりましたが、年齢や立場も変わり、多方面の素晴らしい方々との出会いの機会にも恵まれ、秋田が最も心に残る思い出深い赴任地

になりました。

ところが東京に着任すると、秋田のことや物産を知らない方が意外に多く、「東北の中で秋田だけは行ったことがない、遠いよね」と言われ、とても悔しい思いをしました。折角の魅力的な資源が断片的に伝わっており、行くのに時間がかかるマイナスイメージを払拭する総合力を伝えきれていないからかなと感じました。観光においては、長期滞在型プランで県内の資源をパッケージ化することも有効ではないかと感じました。また、坂が少ないため高齢の方にも優しく、課題の冬の雪も除雪がしっかりしているし、マンションであればほとんど気にならない、四季を感じ心豊かに暮らせる資源がいっぱいある等、移住先としての魅力を総合的にアピールすると、心動かす人も多数出てくるように思います。県外から来た人を大事にし、とても優しく親切に接してくれる、質実でかつ明るい県民性も相まって、きっと多くのファンを作ることでしょう。私もすっかりその一人です。微力ではありますが、これからも秋田を応援しています。

■略歴

昭和37年 大阪府生まれ
 昭和56年 大阪府立岸和田高校 卒業
 昭和60年 関西学院大学法学部法律学科 卒業
 昭和60年 安田火災海上保険 入社
 平成23年 損害保険ジャパン秋田支店長
 平成27年 損害保険ジャパン日本興亜北東京支店長